

ならのき便り

運動会を終えて



10月23日に当麻田小学校で行った運動会では、初めての試みとして、前列をすべて立ち見席にしたことで、不都合を感じた方もおられたことと存じますが、皆様のご協力の下、滞りなく会を終了することができました。

ご協力ありがとうございました。

当日は、心配した天候も雲一つない晴天に恵まれ、開会式から始まって、かけっこ・お遊戯・頑張れ未来のアスリート(以下アスリートと記します)など、この日の晴天を身体いっぱい受け止めて、園児たちは力一杯やりきり、コロナ禍のもと、短縮された運動会を充実した形でやり通しました。年少から年中、年長児と成長していく姿を、保護者の方々もしっかり感じていただいたのではないかと思います。

年少児も年中児も頑張りましたが、特に年長児は、お遊戯の『ソーラン節』もアスリートもリレーも、最年長のクラスとして、花形となってクラス全員がひとつになって見事に活躍しました。アスリートの種目は全員が完全にできる姿を見せることを目的とせず、園で行われている体操の基礎部分を見て頂きたいと取り入れたものでした。

白石豊氏(プロ野球・Jリーグ・オリンピックなどのメンタルコーチを務め、国際体操連盟スポーツ科学委員)の著書によると、『運動ができないと言うことは、運動神経がなかったり悪かったりすることではなくて、その発達が少し遅れているかやり方が悪いだけなのです。生まれつき運動神経が悪いというのは、ほんとうはいないのです。』『幼児期に適切な環境と運動刺激が与えられれば、小学校に入学する頃には、人間として一生で行ういろいろな運動を、誰でも身につけることができる』、『それは「歩く」に始まって、「走る」「跳ぶ」「投げる」「捕る」「ころがる」「ぶら下がる」などなどです。』と述べております。

戦後から、日本の子どもたちの体格は驚くほど良くなりましたが、運動神経の方はどんどん悪くなっているそうです。

そのような状況下、アスリートという種目は、運動能力を高めることを目的として、新町幼稚園で行っていることを知って頂きたいと思い、取り

入れています。

やがて、成長して、本人が野球やサッカーや、テニス・水泳など、取り組みたいと思ったときに大きな助けとなります。整えられた土壌には、野菜や果物や花がよく育つように、幼稚園で身につけた外遊びや室内遊びも、線や文字その他のお稽古事も、すべてが立派に花を咲かせる基となると信じて取り組んでおります。快晴のもとで繰り広げる園児たちの活躍、この子どもたちが、やがて広い社会に巣立ち花を咲かせていく。バラやボタンやシャクヤクのように、華やかに咲く子がいるかもしれない、或いはたんぽぽやすみれや忘れな草のように小さくひっそりと咲くかもしれない、いずれにあっても、力強くやさしく咲いて欲しいものです。

その場にいるだけでも可愛いつくし組も、小さい身体で教えられたことを無心に行う姿、年中児の元気一杯の活躍、クラス全員で華やかに踊る『ソーラン節』、大縄跳びや逆上がりや五段の跳び箱、夢中で走り抜けるリレー、クラスがひとつになって、一人一人が自分の役割を果たした年長児、この日の花形を立派に果たしたすみれ組でした。

ところで、園医をして頂いているさとう歯科クリニック、私個人でもお世話になっているのですが、先日、定期健康診断に出かけて行きました。

その結果、私は、睡眠時などに、無意識に歯を強く噛む癖があり、歯を傷つけ易いという診断を受けました。その予防として、上顎の中心にいつも舌の先を置いておくようにアドバイスを頂きました。このような症状の人はかなり多いそうです。心当たりがある人は心がけてみて下さい。

11月1日(月)より、11月30日(火)の期間、『第十回橋本まちゼミ』が開催されます。その期間内で、佐藤先生は11月11日(木)に計四回、歯についてのお話をします。お話を聞いて頂いたら、きっといろいろ参考になることと思います。

15時から15時50分、16時から16時50分の2回、『舌の正しい姿勢』、17時から17時50分、18時から18時50分の2回、『食育。食べるときの歯の役割』の話をなさるそうです。定員は2名、又はご家族1組ですのでご興味のある方はお申し込み下さい。

申込み先は 042-700-1121 さとう歯科クリニックです。